

## 村西 良太

高等司法研究科・准教授

### 【研究】

科学研究費・基盤研究C(課題番号26380034)の助成による研究成果の一部を公刊することができた。1つは、松井茂記＝長谷部恭男＝渡辺康行編『自由の法理』(成文堂・2015年)に収められた拙稿「憲法と行政立法—日本国憲法下における行政に固有の立法権の可能性について」である。日本の憲法学説は、いわゆる独立命令を違憲と断じてきた。しかしながら、その論拠は必ずしも説得的に示されてこなかったのではないかという視点から、従来の通説を批判的に検討したのがこの拙稿である。もう1つは、「財政・金融のグローバル化と議会留保—ドイツ公法学からみた欧州債務危機の諸相」と題された拙稿で、こちらは浅野有紀ほか編『グローバル化と公法・私法関係の再編』(弘文堂・2015年)に収められた。重要な政策決定が多国間の地平へ持ち出される時代の議会関与の在り方は、ここ数年の主たる研究テーマとなっている。

### 【教育】

高等司法研究科では、未修1年生を対象に「憲法基礎2」を担当した。国会・内閣・裁判所といった「国家機関」と、それらによって担われる「国家作用」について、重要論点を解説した。法学部では、2年生を対象に「憲法2」を開講した。憲法によって保障された権利の具体的内容や射程を詳しく解説した。

### 【管理運営】

高等司法研究科の教務委員およびFD教育企画委員を務めた。前者では時間割作成の責任者を担当し、後者ではモデル講義(学外から招聘した教員の授業見学)の企画・運営に携わった。全学の図書館委員も務めた。

### 【社会貢献】

特になし。